

新ZEH定義（案）

		現行定義		新定義	
		戸建	集合	戸建	集合
省エネ性能	断熱性能	断熱等級 5	断熱等級 5	断熱等級 6	断熱等級 6 ※4
	一次エネルギー消費量削減率（省エネのみ）	20%	20%	35%	35%
設備要件※1		—	—	① 高度エネマネ ② 蓄電池※3 ※3 PVありの場合のみ	—
地域性・建物特性※2 （Oriented適用条件）		・ 多雪地域 ・ 都市部狭小地	（条件なし）	・ 多雪地域 ・ 都市部狭小地	・ 多雪地域 ・ 6階以上
再エネ要件 （再エネ含む一次エネ削減率）		『ZEH』 :100% Nearly ZEH:75%	『ZEH-M』 :100% Nearly ZEH-M:75% ZEH-M Ready:50%	新ZEH+:115% 新ZEH:100% Nearly 新ZEH:75%	新ZEH-M+:115% 新ZEH-M:100% Nearly 新ZEH-M:75% 新ZEH-M Ready50%

※1 新定義では、「EV充電器/充放電器」を推奨設備とし、導入検討にあたり必要な情報の説明を行うことを建築士に求める。

※2 新定義では、「再エネ設備」を推奨事項とし、導入検討にあたり必要な情報の説明を行うことを建築士に求める。

※4 最長2030年までの措置として、下記の例外規定を設定する。

- ・ 角住戸等に関り断熱等級 5 以上とすることを認める。ただし、その場合にあつては、全住戸の外皮平均熱貫流率（UA値）の平均値が断熱等級 6 の基準値を満たすことを条件とする。

今後のスケジュール（案）

- 新定義は2027年度から新規認証を開始。現行定義は2027年度を期限に新規認証の停止を予定。
- ただし、2027年度までに建設された住宅を改修する場合は現行定義での認証取得も可能とする。
- 新規認証の停止後も認証取得済みの住宅は現行定義の利用は継続できることとする。

＜新築の場合＞

	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度
新定義			新定義の認証			
現行定義	現行定義の新規認証					
				新規認証の停止後も、停止前に 認証取得した住宅は現行定義の利用可能		
				現行定義の利用		